

学習システムデザインパターン論 －破壊的イノベーションの視点から－

仲林 清

教育システム情報学会 会長, 千葉工業大学 情報科学部 教授

様々な産業分野、特に 20 世紀後半以降の情報通信分野では、垂直統合型から水平分割型への製品形態の変化が起こり、ビジネスが爆発的に進化した。このような過程においては、しばしば「破壊的イノベーション」と呼ばれる非連続な技術や製品の進化が起き、その流れは現在でも継続している。過去 10 数年、「e ラーニング」というキーワードに期待されていたものも、教育分野における爆発的な進化、あるいは、破壊的イノベーションだったのではないかと考えられる。本講演では、情報通信分野で起きた破壊的イノベーションを、システム・プロダクトのアーキテクチャあるいはデザインパターンの観点から振り返り、それらが、教育や学習の分野に与える示唆について話題を提供したい。

講演者略歴

1982 年 東京工業大学 理工学研究科 応用物理学専攻 修了。
2006 年 早稲田大学 大学院 人間科学研究科 博士課程 修了。
NTT 情報通信研究所、NTT レゾナント、放送大学を経て、現職。NPO 法人
日本イーラーニングコンソシアム副会長。専門は、教育工学、技術標準化。